

「主婦から戦略的総務に」プロジェクト～女性人材で創業期の事業加速化@創業特区福岡～ 【NPO法人ママワーク研究所】

事業を行った背景

創業特区(開業率7.1%=全国一)
×
九州最大の女性の潜在的就業者数

⇒創業**拡大**支援×**女性活躍**の新モデル

目的・目標

- ①ママ人財のブランクを経たキャリアアップ
- ②ベンチャー企業の経営拡大

目標:(1)スキル・マインドニーズの定量化 (2)再教育プログラム開発 (3)再教育プログラムの検証 (4)プロジェクト後、女性人材の活用に経営者が意欲的になること

◆数値目標:成果報告会参加経営者対象にアンケートを行い、3割以上から「再教育後の育児期女性人材の採用を進めたい」という採用認識を得ること

事業の特徴



- ①スタートアップ企業に限定した、バックオフィス業務に着目したこと
- ②育児期女性の社会復帰が企業の経営拡大に資すると位置付けたこと
- ③社会復帰後の更なるキャリアアップも視野に入れたこと

連携団体

【協働団体】

- ・福岡地域戦略推進協議会
- ・株式会社Waris
- ・新日本有限責任監査法人 企業成長サポートセンター
- ・麻生教育サービス株式会社
- ・一般社団法人メンタルウェルネストレーニング協会



事業の効果

- ・報告会兼ミートアップを通じて、12名中4名が就職。
- ・参加企業の8割以上から「再教育後の育児期女性人材の採用を進めたい」という採用認識。
- ・参加ママ人財の約7割が、スタートアップ企業で働くことへの関心を高めることができた
- ・本事業が約24倍の投資価値があるとSROIを測定。

今後の課題

「再教育後の育児期女性人材の採用を進めたい」という採用認識を8割超の企業関係者から得たため、モデル実施したスクールを継続実施する必要があると感じている。実現化に向けての課題は、以下の通り。

- (1) 予算確保(受講料の有料化を考えているが、育児期女性もスタートアップ企業も資金が潤沢でないため工夫を要する。市との連携で費用削減等)
- (2) 再就職後の教育カリキュラム作成(再就職後の高度スキルアップの場の提供も必要性が導き出されたが、今回のモデルでは未実施のため、具体的な内容を詰めていく必要がある。)

事業の概要

Phase 1

- 経営者アンケート実施
- 10/5～10/9

Phase 2

- ヒアリング実施
- 10月～11月

Phase 3

- 再教育プログラム開発・モデルスクール開催
- 11月9日～12月7日

Phase 4

- 報告会(兼ミートアップ)開催
- H28年1月19日



↑ モデルスクールチラシ



↑ モデルスクール修了式



↑ 1/19 報告会



↑ 1/19 ミートアップ風景

メディア掲載 「東洋経済オンライン」⇒ <http://toyokeizai.net/articles/-/107495>
「#FUKUOKA」⇒ <http://hash.city.fukuoka.lg.jp/news/archives/104>

結論

アンケートやヒアリングを通じて、「戦略的総務」人材は、確かな経営者ニーズがあると分かった。オフィスワーク経験が豊富ながら出産・育児で空白がある、育児期女性が再教育を経て創業拡大の担い手になることは、経営者的にも育児期女性人材にもニーズがある。かつ、スタートアップ企業が更に経営拡大する際に必要となる「専門性」を磨く場を復帰後も用意することで、空白があってもしっかりキャリアアップする女性達が増えることを今後目指して行く。